

# 2020年度保育園の自己評価

オレンジ第2保育

1、保育理念・保育観		評価	評価の根拠・改善方法
1	保育士一人一人が、オレンジ第2保育園の保育理念・保育方針を理解している。	B	保育計画や配慮の所でもう少し意識出来る様にしていく。
2	オレンジ第2保育園の保育方針を理解して保育計画が立てられている。	B	今年度「あたりまえ保育の見直し」を園内研究テーマとして実践し改めて方針を見直し定着し
3	常に保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。	B	一人一人の保育観がやっと芽生えてきたのでもう少し質の向上に努めたい。
4	一人一人の主体性を大切に保育をしている。	A	保育の中で主体性として子どもに向き合う。
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	B	コロナ禍の中で保護者との関わりが少なく利用者アンケートでは支持を得た。
2、保育計画・指導計画			
1	保育方針の、ねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や保育計画を立てている	A	しっかりとつながりができ、捉えられた。
2	保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画、月案、週案を立てている	A	十分に意識した計画を立てている。
3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた保育計画を立てている。	A	一人一人丁寧に立案し進めている。
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている。	B	気になる子は、その都度アドバイスしている。
3、食育			
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	A	毎月、食育の日を設けて行っている。
2	調理士、保育士等が連携し、会議等で意見を交わし合いながらより良い給食になるよう努めている。	A	月1回の給食会議を行い意見を交わす。
3	出来るだけ地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	A	しゅんの物や地産地消に心掛ける。
4	給食やおやつは手作りをしている。	A	毎日が手作りで提供できる。
4、職員構成・役割分担・研修			
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	A	役割分担において連携している。
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	B	不審者侵入対策についてももう少し討議。
3	職員が割り当てられた業務分担を把握し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	B	忘れることもありその都度指摘する。
4	園内研修と園外研修の計画を立てて実行している。	A	しっかりとテーマを決めて行う。
5	施設整備や遊具等の安全点検を行っている。	A	行っている。改善も含めて対策している。
5、保護者支援			
1	保護者と良好な関係をつくろうとしている。	A	玄関での保護者対応に留意している。
2	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。	A	常に園だより、ブログでお伝えしている。
3	保護者の状況を理解し、個人情報への漏洩に気をつけている。	A	情報の共有をしつつ保護者とは良好に関わる。
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	B	保護者の身勝手さ、協力しない方への発信が不足

6、子育て支援			
1	地域に開かれた、日々子育てをしている親子を受け入れている。	C	コロナ禍で殆どできていない。
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	C	コロナ禍で殆どできていない。
3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	C	コロナ禍で殆どできていない。
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	A	掲示板やブログで常に行っている。
7、小学校や地域社会との連携			
1	定期的に小学校と交流を行っている。	C	コロナ禍で活動が閉ざされている。
2	定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている。	C	コロナ禍で活動が閉ざされている。
3	高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	C	コロナ禍で活動が閉ざされている。

A:よくできた B:できた C:一部改善が必要 D:改善しなければならない

## 園全体の評価

これまでに経験したことのない、新型コロナウイルス感染症対策に振り回された1年であった。そのために年間行事の中止や簡素化に加え、保護者との対話の機会が薄れた。

反面、園内研修や職員会議が充実し「保育所保育指針」に照らし合わせ「子どもの主体的活動」指示・命令・禁止という、これまでの保育者主体の保育から、子ども自ら「やりたい」「やってみたい」と思う保育の実践が形づけられた。

また、保育方針や保育計画の見直しも併せて改善し次年度からの取り組みがたのしみとなった。

一人一人に寄り添う丁寧な保育が実現できるであろうと期待している。

一斉の設定保育から、少人数のグループに分かれた保育活動が定着しつつある。

地域や保護者との関わりは、コロナ禍の為、思うような取り組みや関わりが持てなかった。

次年度から、乳児保育が主となるので、保育の中身をさらに見直し、また、行事のあり方も見直し、次年